

市民や議会、有識者からの意見を踏まえ、具体的な検証項目を想定する

【 市民・議会からの意見 】

項目	内容
財政負担	・ <u>実質的な市の負担が重要</u> ・ 事業費がどうなるのかが市民の一番の懸念事項
新庁舎工事費	・ <u>工事費の見込みが甘い</u> ・ 想定をはるかに超える金額
必要規模	・ 床面積を増やす必要性がわからない ・ <u>本当に必要な機能・規模を絞るべき</u> ・ <u>災害対策本部の機能のみを整備し、その他の機能は既存施設を活用してはどうか</u>
配置計画	・ <u>合築も検討する必要がある</u> ・ <u>事業費を減らすためあらゆる可能性を検討すべき</u>

【 検証委員会設置に向けてヒアリングした有識者等からの意見 】

項目	内容
検証内容	・ 築45年を経過していることから、将来的には建替えを想定する必要がある ・ そのため、<u>「建てない」という選択肢ではなく、「将来建替える」という選択肢になる</u> ・ <u>「今建替える」の妥当性の検証は、「将来建替える」場合と比較することが中心になるのでは</u> ・ <u>災害対応や財政面から比較することが必要では</u> ・ 現在の計画以外の選択肢があるのであれば、その検証もすべきでは
新庁舎工事費	・ コストは性能・仕様で上下するため、他事例と単純に比較できるものでもない ・ <u>首都圏の事例の単価をそのまま採用したことが妥当なのかは、検証の余地がある</u>
解体工事範囲	・ 地下構造物は、技術的観点や地下水への影響から <u>存置することが合理的か検証した方がよい</u>
市財政	・ 市民が理解できるようどのような材料を準備するかが重要

諮問事項を踏まえて想定した**検証項目（案）**の内容、
検証にあたって整理する事項や必要な調査等について、ご審議いただきたい

諮問事項

- ・ 災害リスクを踏まえた新庁舎整備事業の妥当性
- ・ 新庁舎整備における概算工事費及び想定工期の妥当性
- ・ 現庁舎解体における工事範囲、概算工事費及び想定工期の妥当性
- ・ 新庁舎整備に係る概算事業費が本市の財政運営に与える影響
- ・ 新庁舎整備における工事費抑制につながる整備手法の可能性

【 検証項目（案） 】

- 1 防災面・財政面から「今建替える場合」と「設備のみ改修後、将来建替える場合」を検証する
- 2 本市の建設業界の動向を踏まえ、**新築工事の工事単価の妥当性等**について検証する
- 3 敷地条件や跡地活用への影響を踏まえ、**現庁舎の想定される解体範囲等**について検証する
- 4 **新庁舎整備事業が市財政に及ぼす影響**について持続可能な財政運営の観点から検証する
- 5 設計や工事段階も含め、**工事費抑制につながる可能性がある整備手法**について検証する

参考資料1 現庁舎の概要・役割

参考資料2 現庁舎が抱える課題

参考資料3 新庁舎整備基本計画の進捗状況

参考資料4 新庁舎整備事業の概算事業費

参考資料5 市財政への影響